

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	国際交流課
職	課長
氏名	魚 直樹

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>多角的な交流の展開、国際社会への貢献、世界に開かれたまちづくり、草の根活動の促進、国際感覚豊かな人材の育成を推進するとともに、国際交流を促進するインフラを活用した積極的な外客誘致を図る。</p> <p>平成18年3月に策定した「石川県国際化戦略プラン」について、策定から5年が経過したことから、平成22年度、県民アンケートや石川県国際化推進委員会の意見を踏まえ中間評価を行ったところである。今後は、この中間評価に基づき、4つの課題に重点的に取り組む。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>①世界に開かれた多文化の共生と交流の推進 交流人口の拡大と、県民、交流団体、自治体、在住外国人などの地域社会への積極的な参加による多文化共生・交流県を目指す。</p>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①外国人登録者数	11,215 人	22 年度	17,000 人	27 年度	過去5年間の平均伸び率年6.6%
①民間国際交流団体数	185 団体	22 年度	190 団体	27 年度	石川県新長期構想による
①外国人宿泊者数	169,113 人	22 年度	500,000 人	27 年度	新ほっと石川観光プラン海外誘客10倍増構想による



23年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①経済・文化・青少年・環境など、県民参加による幅広い国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・友好交流地域(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)との交流事業の推進 ・海外研修員、インターンの受け入れ
①国際交流を促進するインフラの活用、県内経済振興につながる積極的な海外からのビジターなどの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語・日本文化研修センターの機能強化 ・国際交流センター、ラウンジ、サロン、留学生交流会館等の国際交流施設の利活用促進
①在住外国人も参加する「多文化共生・交流社会」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・私費留学生の就学支援 ・多文化共生推進員を活用したネットワーク構築、地域交流会、通訳ボランティア講座の開催による多文化共生社会づくり
①グローバル化に対応した人材育成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員を活用したセミナー、国際交流イベント等による国際理解の促進 ・外国語でコミュニケーションできるボランティアや自治体職員の育成